

平成26年9月 定例教育委員会

日 時 平成26年9月22日（月）
14時00分～

場 所 市役所11階 研修室

出席者

（教育委員）

久田委員長 深町委員 合田委員 内海委員 永元教育長

（事務局）

百津教育次長兼学校教育課長 久家教育次長 友永総合教育センター長兼総合教育センター課長 大藤総務課長 金子教育センター所長 小田社会教育課長 吉富スポーツ振興課長 吉田学校保健課長 犬塚青少年教育センター所長 吉住公民館政策課長 阿比留総務課長補佐兼庶務係長 宮崎総務課主任主事

内 容

(1) 委員長報告

(2) 教育長報告

(3) 議 題

- ① 「佐世保市立学校給食におけるアレルギー対応方針」の諮問の件
- ② 雑誌スポンサー制度について

(4) 協議事項

- ① 野崎中学校・俵浦小学校・庵浦小学校 学校統合に関する件

(5) 報告事項

- ① 佐世保市通学区域審議会委員委嘱について
- ② 平成26年度全国学力・学習状況調査について
- ③ 平成26年度長崎県学力調査について
- ④ 平成26年度佐世保市学力調査について
- ⑤ 平成26年度佐世保市小学校体育大会について
- ⑥ 平成26年度佐世保市中学校体育大会（駅伝競技）
- ⑦ 第59回長崎県美術展覧会佐世保会場展について
- ⑧ 平成26年度徳育推進フォーラムについて
- ⑨ 長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会開催について
- ⑩ 除籍処分「雑誌」の提供について
- ⑪ 図書館の非常勤職員に係る上級司書資格者認定に伴う審査について
- ⑫ 「夏休み図書館探検ツアー」の今年度の実施状況について

(6) その他

- ① 次回日程調整

◆ 委員長報告

- 8月22日 日P全国研究大会長崎大会
- 8月24日 がんばらんば国体炬火式
- 8月28日 少年の主張県大会
- 9月 2日 法人会図書贈呈式
- 9月 4日 佐世保市議会本会議
- 9月 7日 せちばるロードレース大会
- 9月10日 前期教育委員会
- 9月12日 佐世保市議会一般質問（第2日目）
- 9月16日 佐世保市議会一般質問（第3日目）
- 9月19日 佐世保市議会文教厚生委員会
- 9月22日 文教厚生委員との現地視察（佐世保市学校給食センター）

◆ 教育長報告

- 8月22日 日P全国研究大会長崎大会
- 8月24日 広田地区交流球技大会
- 8月24日 がんばらんば国体炬火式
- 8月26日 山澄地区市政懇談会
- 8月27日 教育会懇談会
- 8月28日 臨時教育長会
- 9月 1日 いじめ等対策推進協議会
- 9月 2日 黒島小中学校設計業務審査委員会
- 9月 4日 佐世保市議会本会議
- 9月 7日 せちばるロードレース大会
- 9月 8日 宮内庁視察対応
- 9月10日 前期教育委員会
- 9月17日 第5回地域コミュニティ推進会議
- 9月18日 医師会要望
- 9月19日 佐世保市議会文教厚生委員会
- 9月22日 文教厚生委員との現地視察（佐世保市学校給食センター）

◆ 委員長報告・教育長報告に関する質疑・意見等
特になし

～ 以下、事務局から内容の説明を行ったが、その部分は記載していない。～

◆ 議題

- ① 「佐世保市立学校給食におけるアレルギー対応方針」の諮問の件
・佐世保市学校保健会に対して佐世保市立学校給食におけるアレルギー対応方針を諮問するもの

【委員】 アレルギー研究部会委員の推薦依頼が済んでいるのは承知しているが、佐世保市医師会へは小児科の内科系の医者へ依頼されていると思われる。アレルギーはもちろん内科系の疾患からというリスクはあるが、アトピー系の皮膚科系の子どもたちも多いので、可能であれば皮膚科からも一名でいただくにより完璧になると思う。

【事務局】 アレルギー研究部会規約第6条第4項で「部会は必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明及び資料の提出を求めることができる」と定められているので必要に応じ学校保健会を通じて、皮膚科系のドクターへの意見聴取ということも可能と考えている。

【委員】 了解した。

【委員長】 一定物事がスムーズにいつている段階のようであるので、規約を活用して必要に応じ配慮してもらおうようお願いしたい。

【委員長】 その他ないか。

【委員長】 よくここまで立ち上げて、今から実質的なところに入っていくのかと思うが、これからも次回の会議になれば色々な立場から意見をいただいて、まとまる部分、困難な部分があるかもしれないが、いずれにしてもスタートラインに立てたということでありがたく思う。10月23日の会議にはぜひ出席したいと思う。委員におかれては、進めていただくということでもよろしいか。

～異議なし～

【委員長】 それでは本件は事務局案どおり了承することとする。次の議題の説明を請う。

②雑誌スポンサー制度について

・雑誌に対するカバー広告を民間事業者に提供し、その対価を得ることにより図書の充実を図るもの

【委員長】 ちなみに、今図書館で購入している雑誌は、すべて市費で賄われているのか。

【事務局】 そうです。

【委員長】 資料4ページの雑誌一覧表で、例えば「AERA」について言えば、スポンサーになる企業が年額である18,720円を負担していただけるということか。また、自社の用意した雑誌カバーをその雑誌に掛けるということか。

【事務局】 現在、図書館で雑誌に透明のビニールカバーを装着しており、その中にスポンサーが作成した自社のPRを差し込む形式を想定している。

【委員長】 他市の状況を見ると、5社程度とまだまだ進んでいるとは言えない状況のようであるが、この制度は最近始まったものなのか。

【事務局】 確かに雑誌スポンサー制度は平成19年度から取り入れられている。また、導入している図書館長に話を聞くと、どこもスポンサー探しに苦労しているとのことである。

【教育長】 ちなみに、この雑誌すべてにスポンサーが付いた時の収入見込みはいくらくらいになるのか。

【事務局】 大体300万円程度になろうかと思う。

【委員】 スポンサーは雑誌を選べるのか。

【事務局】 スポンサーがこの雑誌をという指定ができる。

【委員長】 いずれにしても、市費を別の図書に使えるし、議会で質問を受けて直ちに調査の上ここまで立ち上げてもらっているということでもあるので、こういった方向で動いてもらうということによいか。

～異議なし～

【委員長】 それでは本件は事務局案どおり了承することとする。次に協議事項の説明を請う。

◆協議事項

①野崎中学校・俵浦小学校・庵浦小学校 学校統合に関する件

・俵ヶ浦半島3校の統合の経過報告並びに地元要望に対する対応について協議するもの

【委員長】 肝心なことは、要望を教育委員会の定例会に投げられたということで、そしてここでしっかり話し合った結果、例えば校名変更はこうしようというようなことをはっきりしないといけない訳で、それぞれの委員さんからご意見を伺いながらということになろうかと思う。ちなみに、従来は統合は、保立と八幡であるとか、戸尾と光園であるとか、旭と花園であるとか、どちらかという対等的な統合というか、そういう形で流れてきて、新たに組織そのものも変わる、校歌も変わるという風に辿ってきたわけである。どちらかという、今回の俵ヶ浦半島の場合は、ものすごく児童数が減少することに伴って、このままでは庵浦がどうにもなくなるなど。庵浦は俵ヶ浦と一緒にするよりも船越に行こうという流れを積み上げて、当初は小中一貫校として俵ヶ浦小と野崎中を統合するということが、通学区域審議会の答申であったものが、いやもうそうするよりもという地元の人々の判断で船越小、愛宕中ということ、こちらがこう持って行ってということとは少し違うなと感じることが一点。

それから、二点目として、例えば、宇久は佐世保市に編入するときだったか神浦中が宇久中に統合されて宇久中に通っている。今度、宇久小と神浦小が統合するときには、宇久小に行く。そういう前例が、どうしても過小規模校の統合が、児童生徒の状況で大規模校に統合してもらうということからすると、大多数が船越小学校という言葉を使っている。愛宕中学校という言葉を使っているのであれば、それはそのままでもいいのかなと思う。例えば、九十九小学校となった時には、校歌から何から変えなければならず、財政的なことも生じてくる。それでいいのかという思いが生じる。それから、愛宕中も変えなくていいのかという風になっていくのではないかと感じる。

【教育長】 要望書を相手に例えば愛宕中学校や船越小学校の統合する方の関係者に見せないといけないと思うが、その時はこの3番目の項目については、出所は明白で、この3小中学校のPTAが要望していることであるので、やはり向こうから出ましたということと言わないといけないと思っている。「それを言います」と教育次長に対応してもらったんですが、我々が考えたことではない。それに、どうしても九十九小学校でないとダメなのかということも聞いても「いや、そうじゃない。」ということであるし、どこから出た話なのかということも聞かれば要望書に書いてあるとおりなので、要望があったということは伝えると説明会で言っているので、それでいいんじゃないかなと思っている。

【委員長】 だから、教育委員会が俵ヶ浦半島に相応しい小学校名をとという気持ちでということではないということですね。新たに提案することではなくて、関係者が、例えば統合してもらった側が言った場合に船越小がいいよと言ったのなら話は別であるが、そこははっきりしてもらわないと。

【教育長】 少なくとも先ほど3つほど例を挙げられたが、花園と旭、戸尾と光園、保立と八幡という場合も、「ああ教育委員会が考えても普通だな」と思うような時でも、地元の方々に協議してもらおう。頭ごなしに押し付けることはない。意見は出たということは言うので。

【委員長】 清水の時も、校名を募集したんですよね。いろいろ出の中で清水という名に落ち着いた。

【教育長】 児童数の比率が10対1位なら八幡となっていたら。対等の小学校であったので清水になった。

【委員長】 いずれにしても、船越小学校に俵ヶ浦半島が集まるということで、教育的にもいい方向に来ている。その方向を損なわないように地元の方にお伝えして、教育委員会の方針や他の所のこれまでの色々な統合の経過という所を話して、地元オープンにしないといけない。要望しておいて自分たちにしてよというのはちょっと気になる。

ということで、今後の日程も含めて、通学区域審議会が今月下旬に開かれる折にもその状況というものを一定説明されるわけだが、結局答申をもらうのは、来年度になるのか。

【事務局】 こちらについては、これから色々詰め状況に入ってくるものと思われます。校名の話もあるでしょうし、或いはスクールバス等々のことなど、越えなければならないハードルがいくらかありますので、そういうのを受けながらということになります。ただ、庵浦小学校の子どもたちを学年ごとに見ると1名しかいない学年が2学年あるという状況にあります。それを考えていくと神浦小学校と同じで、時期を遅くすれば遅くするほどその子どもが一人で学級にいないといけない、或いは本校で学級数が2クラスという学校が市内には他にない。

黒島も統合し、神浦も統合していく状況の中で、人が人を浴びて人になるという言葉借りるまでもなくやはり早い方が子どもにとってはいいのかなと思うので、目標としては平成28年4月という所で考えています。

【委員長】 いずれにしても、10月初旬に船越小と愛宕中に説明に行くという予定がされているようなので、そこでいいよと言っていたくには、公明で正大にしておかないと、何を言っているの？と個人的な意見にならないようお願いしたいと思う。

【委員長】 その他質問がなければ、本件は進めていただくということにしたい。

～異議なし～

【委員長】 次に、報告事項の説明をお願いします。

◆報告事項

①佐世保市通学区域審議会委員委嘱について

～質疑なし～

- ②平成26年度全国学力・学習状況調査について（③、④も一括説明）
- ③平成26年度長崎県学力調査について
- ④平成26年度佐世保市学力調査について

【委員長】 例えば、A小学校の管理職等だとして、佐世保市の算数のAB、国語のABの平均点は承知していて、自分の学校の点数も承知していて、課題を分析して、どうしようかと、ちょっと佐世保市の中では落ちているのかな、少しは平均点より上だからもっと頑張ろうとか、どこが良かったのかという分析すると。ところが、A小学校の校長及び職員は、B小学校の点数については承知していないと。A小学校が60点の平均点を持っていたとしたときに、保護者がうちの学校の力はどうですかと聞いてきたときに、佐世保市の平均点はこうですよとは言っていない、うちの学校はとなったときには言ってもいいのか。

【事務局】 ここは各学校の校長の判断に任せることになっているが、文書等での表現としては、点数の公表だけではなく、佐世保市の平均点をやや上回っていますよとか、全国の平均点をやや下回っていますとかいう文章上の表現も含めて、必ず保護者には知らせるよという措置をとっている。当然県の平均点も公表するし、全国も公表するので、すべての平均点と対比しながらということになる。

【教育長】 学校の点数は出せないのか。

【事務局】 校長が出すという所があれば、私たちは止めることができない。

【委員長】 点数のいい学校は出す、出さない学校は悪かったのかなと疑われるという問題もあるかと思うが、そこまで言う方は、関心が高い方に限られてくるだろうから、そこは校長の対応に任せるといふことか。

【事務局】 そのとおりである。

【委員長】 その他なければ、次の報告に移る。

⑤平成26年度佐世保市小学校体育大会について（⑥も含め一括説明）

⑥平成26年度佐世保市中学校体育大会（駅伝競技）

～質疑なし～

⑦第59回長崎県美術展覧会佐世保会場展について

～質疑なし～

⑧平成26年度徳育推進フォーラムについて

～質疑なし～

⑨長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会開催について

～質疑なし～

⑩除籍処分「雑誌」の提供について

～質疑なし～

⑪図書館の非常勤職員に係る上級司書資格者認定に伴う審査について

【委員】 ちなみに、審査を受ける方の年代はいくつか。

【事務局】 40代となっている。

⑫「夏休み図書館探検ツアー」の今年度の実施状況について

～質疑なし～

その後、次回開催日程を決定し、終了となった。

— 了 —